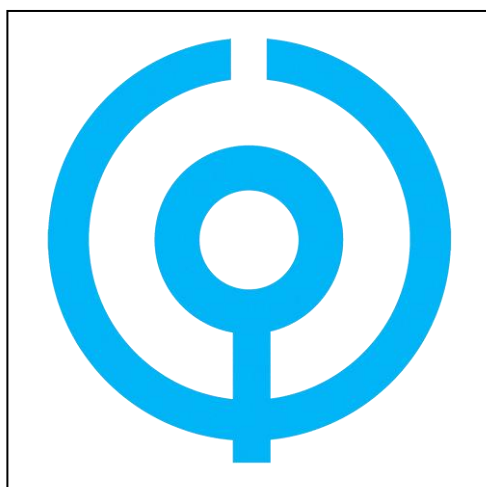


事業報告書

平成28年度
自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日



公益社団法人全国子ども会連合会

東京都文京区大塚 6-1-14 全国子ども会ビル
<http://www.kodomo.or.jp>

■事業統括

平成28年度は、法人設立51年目という新しいスタートへの節目の年でした。世界を見渡しますと、政治・経済・社会の大きな変動期でもありました。世界秩序の変動は日本にも少なからず影響を及ぼすものと思われませんが、ここでは触れません。

そのような中、国内に目を向ければ、大きな変動要因の一つである少子高齢化が一層の未体験ゾーンに入ってきており、子ども会に直接的な影響がある子ども数の減少と、子どもを取り巻く地域の高齢化の急進展は子ども会の活動と存立自体に大きく影響してきております。

具体的に安全共済会加入者数の減少傾向は本年度も続いており、前年比で13万人以上の減少となっております。平成24年度に420万人でスタートし、文部科学省の指導の中でも加入者数の維持を強く指示されましたが、平成28年度は365万人でこの5年間で50万人以上減少しております。これからの取り巻く環境が、さらに厳しくなることは避けられず、従来の上では対応が難しい状況です。

もう一つの大きな変動要因の情報化社会の進展はますますスピードが速くなっております。日常生活のあらゆる分野でITが活用されるようになり、従来人の手で行っていた業務をIT化する範囲もスピードも飛躍的に変化しております。日本では事務職のIT化（事務の効率化）が遅れていると言われており、子ども会関係団体もまだまだ遅れているのが現状です。このIT化の課題はすべき状況からしなければならぬ状況に変わってきております。

上記の環境の中で、今後は短期的な施策は勿論ですが、中長期的な施策も具体的に企画・立案・実行していかなければならない時期になっております。

平成28年度は、今後の子ども会の在り方を模索検討する中で幾つかの試みを行いました。

1. 全国子ども会中央会議で、子どもたちの伝統芸能の発表大会を開催しました。
2. 全国シニア・リーダー組織化の検討をしました。平成29年度から実施予定。
3. 地域で子ども会の今後を検討する地区子ども会推進研究会を立ち上げました。
4. 子ども会KYTからさらに進めて、安全啓発活動全体を推進することにしました。

これらの取組は、現在の取り巻く環境の中で、子ども会がいかに継続して発展していくかの第一歩と考えております。

関係者各位にはご無理もお願いしておりますが、平成29年度は未来委員会もスタートする予定です。厳しい環境の中で、子ども会が発展できるよう皆様と共に着実に歩んでいきたいと考えております。

■組織の状況

I 組織の状況

1 平成28年度の会員状況

正会員：58（45都道府県＋13政令指定都市）

2 役員に関する事項

(1) 当該年度末時点で在籍している役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	任期満了	重要な兼職の状況
丸山 康昭 (熊本県)	会長		平成28年 5月30日	※	
磯田 謙一 (島根県)	副会長	共済事業 安全会	平成28年 5月30日	※	
河本 功 (静岡県)	副会長	総務財務	平成28年 5月30日	※	
野瀬 武敬 (名古屋市)	副会長	事業	平成28年 5月30日	※	
佐々木 正市 (秋田県)	理事		平成28年 5月30日	※	
中川 輝夫 (茨城県)	理事		平成28年 5月30日	※	
大鹿 良夫 (埼玉県)	理事		平成28年 5月30日	※	
小林 幸男 (岐阜県)	理事		平成28年 5月30日	※	
正木 明 (石川県)	理事		平成28年 5月30日	※	
安部 侃 (滋賀県)	理事		平成28年 5月30日	※	
池田 龍男 (福岡県)	理事		平成28年 5月30日	※	
中山 良明 (大阪市)	理事		平成28年 5月30日	※	
成田 國英 (学識経験)	理事		平成28年 5月30日	※	
新田 新一郎 (学識経験)	理事		平成28年 5月30日	※	
吉寄 三義 (学識経験)	常務理事		平成28年 5月30日	※	
中山 ひろみ (大阪府)	監事		平成28年 5月30日	※	

※任期満了は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時。

(2) 平成28年度中に退任した役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	退任の理由
後藤 守吉 (群馬県)	監事		平成28年5月30日 ～平成29年2月14日	死亡のため

II 都道府県・指定都市子連の状況

1 代表者の交代による新規会員

県・市	新代表者	旧代表者	異動年月日	備考
川崎市	新井 久三	吉井 勇	平成28年5月14日	
福井県	山崎 暢子	中西 美和子	平成28年5月21日	
和歌山県	筒井 ツルエ	山田 桂子	平成28年5月18日	
徳島県	佐藤 絹子	長池 武一郎	平成28年3月31日	
香川県	矢野 晃代	鶴身 正	平成28年5月8日	
福岡市	伊藤 嘉人	江下 雅陽	平成28年5月13日	

2 会員都道府県・指定都市子ども会連合組織

別紙1 参照

■事業報告

I 公1事業（連合会事業）

A 子ども会活動の指導及び育成事業

(1) シニア・リーダー（青年リーダー）の子ども会活動への積極的参加

①シニア・リーダーの在り方及び組織化の研究と推進

「子どもの手による子ども会」推進役、ジュニア・リーダーの育成者、地域の街づくりの担い手、将来育成者・指導者として子ども会の発展に尽力すべく、平成29年度に全子連ユースを立ち上げその実現を図る。

②シニア・リーダー研修会

平成28年度全国子ども会シニア・リーダー研修会

ア) 日程：平成28年9月18日～19日

イ) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

ウ) 参加者：49名 オブザーバー2名 講師2名 全子連スタッフ10名

エ) 参加費：5,000円

オ) 実施した主な内容

<1日目（18日）>

開会式 全国子ども会連合会 河本 功 副会長

ワークショップ 聖徳大学准教授 神谷 明宏 氏

子ども会活動のサポートに、シニア・リーダー、ユースリーダーとしてどうかかわるのか。その現状と課題

情報交換会

<2日目（19日）>

フォーラム 全国子ども会連合会 新田 新一郎 理事

子ども会活動のサポートに、シニア・リーダー、ユースリーダーとしてどうかかわるのか。その現状と課題

閉会式 全国子ども会連合会 丸山 康昭 会長

(2) ジュニア・リーダーの指導・育成

①ジュニア・リーダーの在り方及び組織化の研究と推進

29年度に地区子ども会推進研究会並びに全子連ユースの運営の中で具体的な方策を企画・立案・実行へと推進していく。

②地区子ども会ジュニア・リーダー研修大会

ア) 目的：研修、情報交換等を行うことにより、資質の向上を図る。

イ) 内容：青少年の自立支援を組み入れ、地域活動への参画を促す。

ウ) 負担金：平成27年度の共済会加入人数×1.5円を限度に運営費として実費を全子連が負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
(北海道)	北海道	28.8.5～8	国立大雪青少年交流の家	20名
東北	福島県	28.8.5～7	国立磐梯青少年交流の家	146名
関東甲信越静	埼玉県	28.9.20～22	埼玉県大滝元気プラザ	87名
(東京都)	東京都	28.7.28～8.1	三宅村活動火山対策避難施設	24名
東海北陸	愛知県	28.8.6～8	愛知県青年の家	145名
近畿地区	大阪府	28.8.4～5	大東市青少年野外活動センター	71名
中国・四国	山口県	27.8.19～21	国立山口徳地青少年自然の家	148名
九州	沖縄県	28.8.19～21	沖縄県糸満青少年の家	321名
指定都市	横浜市	28.8.4～7	野島青少年研修センター	190名
合計	1,152名			

(3) 全国子ども会連合会表彰

- ・7月 子ども会、ジュニア・リーダー組織の表彰
- ・H29年2月 指導者・育成者、指導者組織・育成組織、奨励賞、全国子ども会を退任された代表者への表彰

表彰区分	団体数・個人数
単位子ども会組織（団体）	16団体
ジュニア・リーダー組織（団体）	8団体
指導者・育成者（個人）	74名
指導者組織及び育成組織（団体）	12団体
奨励賞（団体）	3団体
全国子ども会を退任された代表者	5名

B 指導者及び育成者相互の連携事業

(1) 第50回（平成28年度）全国子ども会育成中央会議・研究大会

- ア) 日程：平成29年2月17日（金）～19日（日）
- イ) 会場：福岡県久留米市六ツ門町8-1 久留米シティプラザ

ウ) 参加者：982名

エ) 参加費：3,000円（情報交換会費、宿泊旅費は参加者負担）

オ) 事業内容：

<1日目（17日）>

- ・ 開会式
- ・ 表彰式
- ・ 記念講演 「いま、大切にしたいこと」 武末 龍泰氏
- ・ 対談「子ども会の明るい未来」
新田新一郎氏（全国子ども会連合会理事） 神谷明宏氏（聖徳大学准教授）
- ・ 表彰式（九州地区子ども会育成連絡協議会・指定都市子ども会連絡協議会）
- ・ 受賞者を囲む会・情報交換会（萃香園ホテル）

<2日目（18日）>

- ・ 分科会・会長会議（久留米シティプラザにて）
大分県子連「子ども会の中で育つ子ども」～子ども会が必要なわけ～
福岡市子連「子ども会活動の運営」～運営するのは誰か～
熊本県子連「子ども会活動の運営」～運営するのは誰か～
鹿児島県子連「子ども会活動の発展と継承」～明日へ、未来へ繋ぐ活動は～
沖縄県子連「子ども会活動の発展と継承」～明日へ、未来へどのように繋ぐか～
長崎県子連「子ども会ジュニア・リーダーと指導者の役割」
佐賀県子連「子ども会における安全教育」～安全教育の推進～
宮崎県子連「子ども会の会員を増やすためには」～少子化だけではない減少の理由～
- ・ 郷土芸能活動発表（久留米シティプラザにて）
大分県子連 神楽「正護」 鹿児島県子連 「山田楽」
佐賀県子連 青幡神社例大祭への巫女の舞奉納
長崎県子連 龍踊 久留米市子連 ボディパーカッション
熊本県子連 八千代座子供カブキ教室の公演
沖縄県子連 創作エイサー 福岡県子連 御井町風流

- ・ 閉会式

<3日目（19日）>

- ・ 視察研修
川下りさげもんめぐり・宗像・隠岐の島と関連遺跡群めぐり・大刀洗平和記念館・太宰府天満宮など4コース

(2) 地区子ども会育成研究協議会

ア) 日 程：地区会長会議において内容を検討し、子ども会発展のため指導者、育成者の情報交換、協議の場として子ども会活動の振興に資する。

イ) 内 容：開会式、表彰式、記念講演、情報交換会、分科会、全大会、閉会式等

ウ) 負 担 金：平成27年度の共済会加入人数×4円を限度に運営費として
実費を全子連が負担した。

地 区	担当県	開催月日	会 場	参加者数
(北海道)	北海道	28.10.22～23	稚内総合文化センター	100名
東 北	宮城県 仙台市	28.11.12～13	ホテル松島大観荘	204名
関東甲信越静	茨城県	28.10.2～3	ホテルレイクビュー水戸	387名
(東京都)	東京都	29.3.5	墨田区曳舟文化センター	102名
東海・北陸	石川県	28.10.1～10.2	加賀市文化会館	237名
近 畿	兵庫県	28.12.3～4	ANAクラウンプラザホテル	191名
中国・四国	島根県	28.11.19～20	ホテル一畑	259名
九 州	福岡県		全子連中央会議を開催	
指定都市	熊本市		熊本地震のため中止	

C 講習認定登録事業

(1) 講習認定事業について

引き続き検討をしていく。

(2) ジュニア・リーダー講習認定事業

初級		中級		上級	
東京都	2名	埼玉県	18名	札幌市	32名
川崎市	1名	千葉県	68名	青森県	2名
神戸市	2名	東京都	4名	埼玉県	20名
高知県	1名	川崎市	0名	千葉県	19名
北九州市	4名	北九州市	1名	沖縄県	7名
沖縄県	12名	沖縄県	36名		
合 計	22名	合 計	127名	合 計	80名

D 安全普及啓発活動

・子ども会KYT指導者養成講習会を本格的に全国で展開し、指導者養成を推進することで安全教育を進めた。

・「防災」「交通安全」「スポーツ競技の練習や大会での事故防止」に重点を置き、事故減少に向け県・子市子連、単位子ども会の安全教育の充実を進めた。

・スポーツ活動中の事故対策として、事故防止マニュアルの指導本を作成し、専門家によるセミナーを全国4か所で開催した。

(1) 子ども会KYT初級・中級・上級指導者認定事業

県・市	初級	中級	上級
北海道	3名	2名	1名
札幌市	0名	0名	0名
青森県	10名	6名	1名
岩手県	8名	0名	0名
宮城県	10名	9名	1名
仙台市	0名	0名	0名
秋田県	2名	3名	0名
山形県	13名	3名	0名
福島県	1名	1名	0名
茨城県	10名	0名	3名
栃木県	6名	1名	4名
群馬県	8名	0名	0名
埼玉県	0名	0名	0名
千葉県	26名	0名	0名
東京都	13名	0名	2名
神奈川県	0名	3名	0名
横浜市	0名	0名	0名
川崎市	0名	0名	0名
相模原市	0名	0名	0名
新潟県	7名	2名	2名
富山県	0名	0名	3名
石川県	0名	0名	0名
福井県	11名	0名	0名
山梨県	2名	2名	0名
長野県	0名	0名	1名
岐阜県	29名	2名	2名
静岡県	0名	0名	0名
愛知県	0名	0名	0名
名古屋市	0名	0名	0名
三重県	28名	0名	0名
滋賀県	21名	13名	1名
大阪府	32名	9名	1名
大阪市	28名	3名	1名

兵 庫 県	78名	5名	1名
神 戸 市	0名	4名	0名
奈 良 県	3名	4名	0名
和 歌 山 県	0名	0名	0名
鳥 取 県	0名	2名	2名
島 根 県	0名	4名	2名
岡 山 県	2名	13名	0名
岡 山 市	0名	0名	0名
広 島 県	5名	5名	2名
広 島 市	0名	0名	0名
山 口 県	0名	0名	0名
徳 島 県	0名	0名	0名
香 川 県	0名	0名	0名
愛 媛 県	0名	1名	0名
高 知 県	1名	0名	1名
福 岡 県	4名	3名	3名
北 九 州 市	0名	0名	0名
福 岡 市	0名	0名	0名
佐 賀 県	10名	1名	1名
長 崎 県	10名	1名	0名
熊 本 県	8名	0名	0名
熊 本 市	0名	0名	0名
大 分 県	0名	0名	0名
宮 崎 県	0名	3名	1名
鹿 児 島 県	58名	2名	2名
沖 縄 県	0名	0名	0名
合 計	447名	107名	38名

(2) 子ども会KYT初級指導者養成講習会

地 区	開催県・市	開催期日	参加者数
北海道・東北	青 森 県	7月10日	5名
		11月23日	10名
北海道・東北	岩 手 県	10月29日	8名
北海道・東北	宮 城 県	6月19日	10名
北海道・東北	秋 田 県	7月2日	5名
北海道・東北	山 形 県	6月26日	13名
関東甲信越静	茨 城 県	6月4日	30名
関東甲信越静	栃 木 県	6月19日	40名
関東甲信越静	群 馬 県	5月15日	38名
関東甲信越静	埼 玉 県	5月29日	21名
関東甲信越静	千 葉 県	6月26日	13名
関東甲信越静	東 京 都	6月4日	5名
関東甲信越静	神 奈 川 県	6月19日	25名
関東甲信越静	新 潟 県	7月10日	17名

関東甲信越静	長野県	8月11日	19名
		1月29日	47名
関東甲信越静	静岡県	7月3日	28名
東海北陸	福井県	6月12日	18名
東海北陸	岐阜県	1月22日	58名
東海北陸	三重県	6月25日	28名
近畿	滋賀県	6月26日	33名
近畿	大阪府	11月19日	38名
近畿	兵庫県	12月11日	26名
		1月15日	30名
		2月11日	23名
中国・四国	岡山県	1月22日	19名
中国・四国	広島県	1月29日	18名
中国・四国	高知県	7月24日	3名
九州	福岡県	6月26日	15名
九州	佐賀県	6月26日	11名
九州	長崎県	6月18日	10名
九州	熊本県	7月9日	11名
九州	大分県	3月4日	19名
九州	鹿児島県	7月16日	58名
指定都市	大阪市	12月18日	7名
合計			759名

(3) 子ども会KYT中級指導者養成講習会

地区	開催県・市	開催期日	参加者数
北海道・東北	岩手県	11月26日・27日	25名
関東甲信越静	東京都	12月10日・11日	28名
近畿	滋賀県	6月25日・26日	40名
中国・四国	岡山県	12月17日・18日	8名
九州	佐賀県	7月23日・24日	26名
合計			127名

(4) 子ども会KYT上級指導者養成講習会

第1回 平成28年7月

第2回 平成28年12月

第3回 平成29年3月

上級指導者一覧表

地区	都道府県・指定都市	氏名
北海道	北海道	椿 勇喜
東北	青森県	田中 潔
東北	宮城県	荒井 秀一

関東甲信越静	茨城県	中川 輝夫
関東甲信越静	茨城県	大久保 昌義
関東甲信越静	茨城県	町田 満
関東甲信越静	栃木県	兵藤 一成
関東甲信越静	栃木県	原田 忠
関東甲信越静	栃木県	加藤 富男
関東甲信越静	栃木県	大橋 康德
関東甲信越静	東京都	齋藤 武
関東甲信越静	東京都	太田 克己
関東甲信越静	新潟県	岡田 政枝
関東甲信越静	新潟県	武士俣 昭司
東海北陸	富山県	堀田 喜久男
東海北陸	富山県	高井 豊峰
東海北陸	富山県	高澤 正三
関東甲信越静	長野県	田中 浩二
東海北陸	岐阜県	森下 珠美
東海北陸	岐阜県	野中 好子
近畿	滋賀県	大西 正行
近畿	大阪府	牧田 恵美
指定都市	大阪市	中山 良明
近畿地区	兵庫県	柴田 光啓
中国四国	鳥取県	仲田 和文
中国四国	鳥取県	西林 いずみ
中国四国	島根県	磯田 謙一
中国四国	島根県	小谷 徹
中国四国	広島県	杉原 潔
中国四国	広島県	本多 誠一
中国四国	高知県	前田 良二
九州	福岡県	池田 龍男
九州	福岡県	坂井 宏光
九州	福岡県	中村 多嘉子
九州	佐賀県	石丸 正信
九州	宮崎県	安樂 和寿
九州	鹿児島県	藤崎 真由美
九州	鹿児島県	植林 伸洋

(5) スポーツの練習・競技中のケガ防止対策指導者養成講習会

地 区	開催県・市	開催期日	参加者数
関東甲信越静	東 京 都	7月31日	41名
関東甲信越静	川 崎 市	10月30日	74名
関東甲信越静	静 岡 県	1月22日	37名
近 畿	大 阪 府	10月16日	35名
合 計			187名

(6) 各縣市子連での安全普及啓発活動の推進のために、6地区33縣市子連に安全普及啓発活動助成金を各10万円限度に交付した。

県・市・地区	活 動 名
北 海 道	安全対策研究協議会（胆振地区）
	KYT（危険予知トレーニング）講習会
	安全対策研修会（オホーツク地区）
	安全対策推進議会（上川地区）
岩 手 県	第44回金ヶ崎子ども会親善スポーツ交流会
	川の楽校「『いざ👧👧に備える』体験スタンプラリー
	平成28年度前期子ども会 KYT 初級指導者養成講習会事業
	平成28年度子ども会 KYT 初級指導者養成講習会事業
宮 城 県	スポーツの練習・競技中のケガ防止対策マニュアル指導書配布
山 形 県	安全普及啓発活動関係資料配布
	KYT 初級指導者養成講習会「防災活動ハンドブック」「スポーツ練習・競技中のケガ防止対策マニュアル」配布
仙 台 市	28年インリーダー研修会・育成者実技研修会
秋 田 県	平成28年度ジュニア・リーダー等冬期研修会及び安全普及啓発活動
茨 城 県	ネットセキュリティの必要性について指導・購入
	平成28年度定時総会
	平成28年度子ども会 KYT 初級指導者養成講習会
	平成28年度子ども会 KYT 初級指導者養成講習会
	高校生連絡協議会
栃 木 県	宇都宮市峰地区安全教育研修会
	矢板市子連 KYT 研修会
	小山市子連育成者研修会
	平成28年度県子連ジュニア・リーダー研修会
	平成28年度県子連主催子ども会 KYT 初級指導者養成講習会
	宇都宮市豊郷地区安全推進委員研修会
	平成28年度青少年育成指導者研修会（危険予知トレーニングについて）
群 馬 県	平成28年度子ども会 KYT 初級指導者養成講習会
埼 玉 県	子ども会 KYT 指導者養成講習会【初級コース】
神 奈 川 県	子ども会 KYT 指導者養成講習会（初級）
	安全教育研修会
	ぼうさい探検隊リーダー養成講習会
横 浜 市	防災キャンプ2016

川崎市	安全研修会（KYT講習会・熱中症予防・応急手当）・育成者研修会（防災コンサート）
新潟県	メディア啓発活動
福井県	平成28年度子ども会 KYT 初級指導者養成講習会
	第2回事業推進委員会
	平成28年度第19回福井県子ども会ジュニア・リーダー連絡会
長野県	KYT講習会・各種研修会等
岐阜県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
静岡県	安全教育指導者養成研修会
名古屋市	平成28年度安全講習会
三重県	三重県子ども会連合会 平成28年度子ども会 KYT 初級指導者養成講習会
滋賀県	平成28年度 滋賀県子ども会連合会安全教育研修大会 (子ども会 KYT 初級指導者養成講習会)
大阪府	大阪府こども会親善スポーツ大会（ドッジビー大会）
大阪市	安全普及啓発講習会
兵庫県	防災・減災活動普及のための講習会 及び子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
鳥取県	スポーツのケガ防止マニュアル、スポーツのケガ防止マニュアル指導書、 防災活動ハンドブック、子ども会 KYT 冊子配布事業
島根県	城北地区子ども会「正しい自転車乗り方教室」
岡山県	KYT 登山（櫃ヶ山）953m
広島県	初級 KYT 指導者養成講習会
広島市	スポーツの練習・競技中のケガ防止対策
香川県	市子連安全活動推進事業「KYT 登山」
高知県	KYT 危険予知トレーニング初級指導者養成講習会
福岡県	KYT 初級指導者養成講習会
	安全啓発ポスター
長崎県	平成28年度 長崎県子ども会 KYT 初級指導者養成講習会
	第31回ジュニア・リーダー研修会
	第29回佐世保市子連「少年の船」
	危険予知トレーニング（KYT）研修会
	夏休み野外活動（キャンプ）講習会 新指導者研修会
東北地区	平成28年度子ども会 KYT 中級講習会及び安全普及啓発活動
関東甲信越静地区	平成28年度子ども会 KYT 中級指導者講習会
近畿地区	平成28年度近畿地区子ども会 KYT 中級指導者養成講習会
中国四国地区	子ども会 KYT 中級指導者養成講習会
九州地区	子ども会 KYT 中級指導者養成講習会
政令指定都市	名古屋市子ども会フェスティバル

E 資料の刊行情報提供事業

(1) ホームページの充実とインターネットの活用

全国子ども会連合会のホームページの充実を図るとともに、県・市子連のホームページ作成を無料で支援。25年度は群馬県、宮城県、茨城県、新潟県、神奈川県、大阪市、神戸市、岡山県、宮崎県に引き続き、26年度は熊本市、東京都、長崎県、三重県、高知県、札幌市、福岡市、奈良県のホームページを作成し、27年度は、埼玉県、鳥取県、福井県、北九州市、長野県、岩手県を作成、28年度は兵庫県、愛媛県、静岡県を作成し合計26件。

合計26県・市子連のホームページを作成。

また現在徳島県を作成中、栃木県、岐阜県の作成を予定している。各県・市子連から作成の相談や、作成したホームページの更新依頼を受けている。

(2) 情報収集・提供

29年度にデータ収集と提供をできるように準備する。

(3) 「明日への子ども会」全子連50年史を5月に作成し関係各所へ配布贈呈した。

作成部数：2,000部

F 企業団体等連携事業

(1) 企業・団体との共同による事業の展開

28年度中は成果としての結果は得られなかったが、29年度のサンプリング等の企業支援に結びついた。

(2) 子ども会推奨マーク制度

子どもたちの健全な育成に寄与する商品・サービスとして、全国子ども会連合会が認定
継続申請 8件・新規申請2件

商品・サービス名	申請者	商品・サービス内容	備考
リポビタンDキッズ	大正製薬株式会社	子どもの成長に必要な、タウリン・カルシウム配合のリポビタンD	継続
mamorino3	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
みまもり携帯	ソフトバンクモバイル株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
キッズケータイ	株式会社NTTドコモ	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続

ドコッチ	株式会社NTTドコモ	子どもの見守り機能がついたスマートウォッチ	新規
miraie	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
バイオサーージュ アウトドア ビオ ミスト	カラーズ株式会社	虫が嫌がる天然精油のアロマで子どもの肌をやさしく守る、アウトドアボディミスト	継続
マモリーノ ウォッチ	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした通話もできる防水対応キッズウォッチ	継続
TONE m15	トーンモバイル株式会社	利用時間や利用機能をコントロールできることで、子どものニーズにも応えつつ保護者の不安を解消した子供用スマートフォン	新規
LEDシーリング 【まなびのあかり】	日立アプライアンス株式会社	文字が見やすく色鮮やかに見えるあかりで、学びの環境を整えるLEDシーリング	新規

G 助成金事業

(1) 子どもゆめ基金事業（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

「マンドリンの生オーケストラといっしょに音楽しようよ！」

事業の概要：子どもたちが音楽を聞き、作り、奏でる体験を通して音楽のもつ様々な力を感じ取り、豊かな心を養い、生きる力を培う。本事業では、マンドリンオーケストラによる生演奏の鑑賞から、演奏者たちの直接指導による楽器作り、リズム作りを経て、メロディーに合せて、世界一周を題材とした音楽物語を共演し、保護者に向けて発表した。

また、子どもたちが音楽物語の練習、リハーサルをしている間に、保護者の希望者にはマンドリン、ギターの楽器体験をしてもらった。

子どもたちの自発的な参加意欲を刺激しつつ、音楽の楽しさ、身近さ、自由さを体験してもらい、親子が一緒に生の音楽に触れることで、今後、家庭や地域の中で、継続して音楽を楽しむ取り組みがなされる事を期待している。

開催地	開催期日	会場	参加人数	
			子ども	大人
福井県	平成28年11月27日	福井市 文寿殿	29名	82名
北海道	平成28年12月11日	芦別市青少年センター体育館	24名	36名
宮城県	平成29年1月29日	富谷市総合運動公園 富谷武道館	28名	28名
熊本市	平成29年3月5日	総合体育館内 青年会館ホール	24名	18名

(2) 公募寄付金の募集

熊本地震災害救援募金を九州地区子ども会育成連絡協議会で行ないました。

平成 28 年 12 月 1 日に次の金額を支援いたしました。

熊本県 300 万、熊本市 200 万円、大分県 100 万円。

平成 28 年 3 月末の残金は 336 万円で、平成 29 年度も引き続き募集をしております。

H 賠償責任保険の契約

(1) 平成 28 年度発生事故（報告件数、支払状況）

① 対人事故報告件数 = 3 件

・ 支払対象外・請求放棄 3 件

② 対物事故報告件数 = 1 5 8 件

・ 支払済	1 1 3 件	3, 6 0 7, 6 4 0 円
・ 手続き中	2 3 件	
・ 支払対象外・請求放棄	2 2 件	

③ 対人 + 対物事故報告件数 = 1 件

・ 支払対象外・請求放棄 1 件

(2) 平成 27 年度以前発生事故（支払状況）

① 対人事故

・ 支払済 0 件 0 円

② 対物事故

・ 支払済 2 7 件 5 6 4, 9 6 6 円

③ 対人 + 対物事故

・ 支払済 0 件 0 円

I 物販事業

(1) 売上金額（平成 2 8 年 4 月 1 日～平成 2 9 年 3 月 3 1 日）

5, 0 0 6, 3 6 1 円

J 共済事業

1. 加入状況

(単位:名)

幼児	子ども	指導者・育成者	計
167,724	2,432,364	1,055,214	3,655,302

2. 共済金支払状況

(1) 平成25年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	0	0	
疾病・傷害	1	1,943	入院・通院に関する給付
計	1	1,943	

(2) 平成26年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	0	0	
疾病・傷害	13	657,588	入院・通院に関する給付
計	13	657,588	

(3) 平成27年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	1	3,000,000	大人1名
後遺障害	12	14,140,000	子ども6名、大人6名
疾病・傷害	500	19,272,215	入院・通院に関する給付
計	985	36,412,215	

(4) 平成28年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	1	6,000,000	子ども1名
後遺障害	6	1,130,000	子ども3名、大人3名
疾病・傷害	2,764	33,787,272	入院・通院に関する給付
計	2,771	40,917,272	

(5) 合計

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	2	9,000,000	子ども1名、大人1名
後遺障害	18	15,270,000	子ども9名、大人9名
疾病・傷害	3,278	53,719,018	入院・通院に関する給付
合計	3,298	77,989,018	

3. 立入検査について

平成28年10月18日～10月21日

指摘事項等詳細は別紙2のとおり

4. 業務委託について

59の県・市子ども会連合組織と共済事業について、業務委託契約を締結し、事務委託費として、36,549,440円を支出。

5. 準備金等の積立について

①責任準備金について

純掛金×50 ÷ 1000 = 4,188,291円

平成28年度共済純掛金の総額 = 83,765,816円 (a + b)

a 23円 × 3,624,689人 (加入者数) = 83,367,847円 (前期4月～9月加入)

b 13円 × 30,613人 (加入者数) = 397,969円 (後期10月～3月加入)

②普通支払備金について

28年度分 2,807,564円

合計 2,807,564円

③IBNR備金の算出方法

平成22年12月27日付文部科学省告示第百七十五号により告示された定義による。

18,130,187円

④準備金について

c 共済事業経常収益計 209,734,498円

d " 経常費用計 194,951,306円 (準備金以外)

剰余金は全額を準備金とする

c - d = 14,783,192円を準備金として計上した。

①責任準備金と②準備金の今期増加分については、現預金の残額の関係で積立資産に計上していない。

6. 共済会計における財産及び損益の状況

①財産の状況

(単位:円)

項目	平成29年3月31日現在	平成28年3月31日現在
流動資産	48,346,294	66,975,656
固定資産	156,444,245	113,124,161
資産合計	204,790,539	180,099,817
負債合計	190,178,109	165,487,387
正味財産	14,612,430	14,612,430
準備金	130,582,447	115,799,255

② 損益の状況

(単位:円)

項目	平成 29 年 3 月 31 日現在	平成 28 年 3 月 31 日現在
当期収入	209,734,498	238,334,657
当期支出額	209,734,498	238,090,985
事業費	209,734,498	238,090,985
うち共済金	77,989,018	78,559,811
経常外費用	0	243,672
当期収支差額	0	0

7. 安全共済会制度検討委員会

委員：朝日照夫（北海道）、矢野均（青森県）、山上武久（神奈川県）、宮澤淳治（長野県）
齋藤武（東京都）、小野欽一（三重県）、正木明（石川県）、安部侃（滋賀県）
石橋寿恵夫（大阪府）、岡本康成（広島県）、磯田謙一（島根県）
池田龍男（福岡県）、松尾孝一（長崎県）、上地憲正（熊本市）

第1回検討委員会

平成 28 年 10 月 12 日（水） 11：00～17：00

第2回検討委員会

平成 28 年 12 月 15 日（木） 12：30～16：00

第3回検討委員会

平成 29 年 3 月 15 日（水） 12：30～16：00

8. 今後の課題

（1）共済契約者の保護、法令に遵守した健全な運営が求められ、リスク管理の重要性を十分に把握し、さらなる内部管理の強化を今後も継続して進める。

（2）財務の健全性を保つため、引き続き被共済者の増加促進運動の展開、募集のための費用の見直しや改善、支払事務体制の改善を継続して進める。

（3）業務委託先である都道府県・指定都市子連との連携を強化し、リスクの共有により事故軽減のための安全普及啓発運動の展開を推進していく。

（4）事故に占める割合がスポーツ事故が大きく、その軽減が重要である。

（5）共済金の支払い率の格差の是正が重要である。

<その他>

(1) 事務担当者会議

①平成28年度新人事務担当者研修

日 時：平成28年4月15日（金） 13:00～17:00

場 所：全国子ども会ビル2階

参加人数：県・市子連・・・54名、全子連・・・10名

文部科学省：社会教育課PTA等共済室PTA等共済指導係長 吉谷 正 様

株式会社セキュリティエージェント 執行役員 金子 全太郎 様

内 容：

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 「PTA等共済法に基づく子ども会の共済事業について」

講師

文部科学省生涯学習政策局社会教育課PTA等共済室係長 吉谷 正 様

4. 「PC及びネットの適正な利用について」

講師

株式会社セキュリティエージェント

執行役員 ネットワークソリューション事業部長 金子 全太郎 様

5. 全子連事業の業務事務について
6. 経理の基本について
7. 質問等
8. 閉会挨拶

II 収益事業

1 全子連ビル管理・賃貸事業

(1) 賃貸事業

① NPO法人東京都子ども会連合会賃貸収入	1, 192, 320円/年
② 貸し会議室賃貸収入	70, 740円

(2) ビル管理事業

① エレベーター保守点検費用	233, 280円/年
② 警備費用	149, 040円/年

(3) ビルの建替工事資金と大規模修繕工事費用の積立

① 建替準備資産	当年度繰入	1, 646, 260円
	当年度末	19, 755, 120円
② 大規模修繕準備資産	当年度繰入	2, 865, 000円
	当年度末	14, 325, 000円

Ⅲ 法人の運営について

1. 組織、事務局執行体制の整備と強化

- 1) 保険会社を定年退職した専門職員を 2 人採用。文科省の研修に参加し、共済業務知識の習得を図った。
- 2) ホームページの充実と、システムの活用により県・市子連との情報の共有化を推進した。

2. 傷害保険等の契約

- 1) 傷害（NPO）保険 ————— 各県（政令市）子連事務局の有給職員を対象
 - ・加入者数 148 人
 - ・支払保険金 0 件
 - ・申請中 1 件
- 2) ボランティア活動保険（たんぽぽ） ————— 地域子ども会の育成者・指導者等、無償ボランティアを対象
 - ・加入者数 3,331 人
 - ・支払保険金 2 件 (64,000 円)
 - ・請求待ち 1 件
 - ・治療中 1 件

3. 総会について

期日	出欠	内容	審議結果
定時総会 平成 28 年 5 月 30 日	出席者 58 名	1. 平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日）事業報告及び収支決算書（計算書類）等の承認の件	承認
	書面決議 2 名	2. 平成 28 年度事業計画及び収支予算書の承認の件	承認
	委任状 8 名 欠席者 1 名	3. 役員を選任の件 「北海道・東北地区」 佐々木正一（秋田県） 「関東甲信越静岡地区」 河本功（静岡県） 大鹿良夫（埼玉県） 中川輝夫（茨城県） 「東海北陸地区」 小林幸男（岐阜県） 正木 明（石川県） 「近畿地区」 安部 侃（滋賀県） 「中国四国地区」 磯田謙一（島根県）	承認

		「九州地区」 丸山康昭（熊本県） 池田龍男（福岡県） 「政令指定都市地区」 野瀬武敬（名古屋市） 中山良明（大阪市） 「正会員外」 新田新一郎 成田國英 常務理事 吉寄三義 「監事」 後藤守吉 中山ひろみ	
		報告事項 （１）監事監査報告 （２）全子連 50 年史報告 （３）平成 28 年熊本地震災害救援募金活動報告 （４）共済支払状況（平成 26 年度～27 年度）報告 （５）スポーツ事故防止マニュアル指導本報告	

4. 理事会について

期 日	出 欠	内 容	審議結 果
第 1 回 平成 2 8 年 4 月 1 日	出席者 1 4 名 欠席者 0 名 監事 1 名 監事 欠席者 1 名	1. 理事会運営規則改正(案)の承認 2. 平成28年度事業計画(案)の承認 3. 安全共済会の共済掛金の変更(案)の取り下げ承認 4. 安全共済会の検討委員会立ち上げの承認 5. 子ども会未来委員会立ち上げの承認 報告事項 1. 共済事務担当新人職員の紹介 瀬川 淑江 2. 安全共済会担当新人職員の紹介 高橋 浩司 西尾 正則 3. 正規職員の任命について 平成 2 8 年 4 月 1 日正規職員任命 ・ 菊池 則子 ・ 片山 恵利子 ・ 紺野 里奈 ・ 御園生 公一 4. 台風 1 8 号大雨被害緊急寄附金について 5. 口永良部島の噴火被害寄附金について 6. 子ども会推奨マークについて 新規に 2 社を認定商品として承認	承認 承認 承認 承認 承認

		<p>7. チャイルド・ユースサポート章について</p> <p>8. 「全子連50年史」(仮称)について</p> <p>9. 療養中の後藤守吉監事について</p>	
<p>第2回 平成28年 5月11日</p>	<p>出席者 12名</p> <p>欠席者 2名</p> <p>監事 1名</p> <p>監事 欠席者 1名</p>	<p>1. 平成27年度事業報告及び収支決算書(計算書類)等の承認の件</p> <p>2. 平成28年度事業計画及び収支予算書の承認の件</p> <p>3. 安全共済会の共済掛金の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の定時総会には議案提出はしない ・総会終了後、1時間程度の時間を設けて、この問題に関する検討会議を開催する <p>4. 平成28年度定時総会の議題について</p> <p>5. 安全共済会制度検討委員会について</p> <p>6. 子ども会未来委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会未来委員会では、パンフレットを作るなど、具体的かつ早急に出来ることから検討する。 ・委員は子ども会活動の現場に精通している方で、各地区1~2名選出してもらう。 <p>7. 監事監査報告</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 全子連50年史について (2) 平成28年熊本地震災害救援募金活動について (3) スポーツ事故防止マニュアル指導本について 	<p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p>
<p>第3回 平成28年 5月30日</p>	<p>出席者 13名</p> <p>欠席者 1名</p> <p>監事 1名</p> <p>監事 欠席者 1名</p>	<p>1. 平成27年度収支決算書(計算書類)等の承認の件</p> <p>2. 平成28年度収支予算書の承認の件</p> <p>3. 新規会員の承認の件</p> <p>4. 安全共済会制度検討委員会について</p> <p>5. 子ども会未来委員会について</p> <p>各ブロックから選出する15名と、正会員外理事3名の18名で構成する。</p> <p>北海道・東北 2名 関東甲信越静 3名 東海北陸 2名 近畿 2名 中国・四国 2名 九州 2名 政令指定都市 2名</p>	<p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p>

<p>第4回 平成28年 5月30日</p>	<p>出席者 15名 欠席者 0名 監事 1名 監事 欠席者 1名</p>	<p>1. 第1号議題 会長及び副会長の選任 ・会長の選任について。 会長候補者として自薦、他薦により丸山康昭理事が推薦され、理事全員の承認により丸山康昭理事が会長に選任された。 ・副会長の選任について。 会長が副会長の選考を行い、磯田謙一理事、河本功理事、野瀬武敬理事を推薦し、全会一致でこれを承認した。 ・理事の職務権限規程第7条第2項の会長の業務執行に係る職務代行の順序は次のように承認された。 第1順位 磯田 謙一 副会長 第2順位 河本 功 副会長 第3順位 野瀬 武敬 副会長</p>	<p>承認</p>
<p>文書決議 平成28年 7月7日</p>	<p>理事 15名 監事 2名</p>	<p>1. 安全共済会制度検討委員会の委員選定枠改正の件 次の通り13名に委嘱することとすること。 地区選出:8名 安全共済会審査委員:5名</p>	<p>全員同意</p>
<p>第5回 平成28年 9月20日</p>	<p>出席者 14名 欠席者 1名 監事 1名 監事 欠席者 1名</p>	<p>1. 「個人情報保護に関する基本方針」の改正の承認 承認 2. 「個人番号及び特定個人情報取扱規程」の制定の承認 承認 3. 定款第13条の改正の承認 承認 4. 「表彰規程」の改正の承認 承認 5. 安全共済会制度検討委員会の人数訂正の承認 承認 6. 常務理事の年額報酬を100万円とすることの承認 承認 7. 「旅費規程」の改正の承認 承認 8. 吉寄三義氏を協賛事業部長に任命することの承認 承認 9. 「謝金規程」の改正の承認 承認 10. 「公印取扱規程」の改正の承認 承認 11. 50年史の活用の承認 承認 12. 平成29年度総会の場所、日程の承認 承認 13. 全子連でのシニア・リーダー組織化の承認 承認</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p>

		<p>14. 安全普及啓発活動を共済事業の中で実施することの承認</p> <p>15. 有限会社プランニング開に業務委託することの承認</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 地区子ども会推進研究会について</p> <p>(2) 安全共済会制度検討委員会について</p> <p>(3) 子ども会未来委員会について</p> <p>(4) ジュニア・リーダー全国研修会について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 代表理事・執行理事の職務の執行状況の報告</p> <p>(2) 平成28年度中央会議についての報告</p> <p>(3) 第3回シニア・リーダー研修会について報告</p>	承認 承認
<p>第6回 平成28年 12月21日</p>	<p>出席者 12名</p> <p>欠席者 3名</p> <p>監事 1名</p> <p>監事 欠席者 1名</p>	<p>1. 平成29年度運動方針・事業計画(案)</p> <p>2. 平成29年度予算(案)</p> <p>3. 定款第7条の改正について</p> <p>4. 全国子ども会連合会運営費規程の改正について</p> <p>5. 中央会議会長会議</p> <p>6. 全国子ども会KYT公認指導者資格認定規程の改正について</p> <p>協議事項</p> <p>地区(ブロック)事業における指定都市の関わりについて</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 文科省検査について</p> <p>(2) 内閣府の検査について</p> <p>(3) スポーツのケガ防止対策指導者養成講習会について</p> <p>(4) 子ども会推奨マーク</p> <p>① トーンモバイル株式会社</p> <p>② 日立アプライアンス株式会社</p> <p>(5) バケツ稲(全国農業協同組合中央会)</p> <p>(6) ゆめ基金</p> <p>(7) 地区推進研究会</p> <p>(8) 共済制度検討委員会</p>	承認 承認 承認 承認 承認 承認

5. 内部監査の実施

後藤内部監査担当が病気のため未実施。

「シニア、ジュニア・リーダーが進める子どもの手による子ども会！」

「保護者の理解と参加で子ども会活動の活性化！」

「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」

